



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2020年度環境報告書

2020年4月～2021年3月



環境方針

当社は、地球環境に対して、企業の社会的責任を深く認識し、当社の事業目的であるトータルモーションコントロールの追求を通して、自然破壊の速度を抑えるべき優れた技術・サービスを社会に提供し、地球環境の保護に努める。

- 1) 開発から回収・廃棄に至る全ての生産プロセスにおける環境負荷の評価と環境破壊抑制型の技術開発に努め、環境に調和した商品を創出し提供する。
- 2) 環境関連法・条例を遵守し、且つ自主管理目標を設定し、活動計画の見直しを通じて管理レベルの向上を継続的に実行する。
- 3) 資源・エネルギーの効率的利用を図り、廃棄・排出物の低減とリサイクルに努め、環境負荷の低減を目指す。
- 4) 環境方針は、従業員及び当社に関連する関係会社・協力会社へ周知させる。
- 5) 地域社会での環境保護活動に参加し、地域との共存に努める。

代表取締役社長

長井 啓

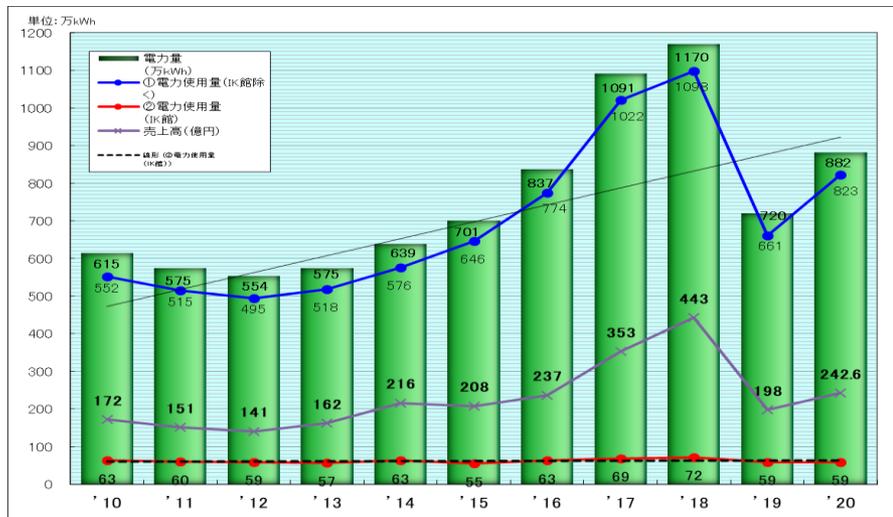
2020年度の環境活動の総括

活動方針	中期計画	2020年度の活動と成果
1. 環境に調和した商品の開発と提供	1) 環境規制物質の撤廃 及び 化学物質審査に関する国際規制への対応 2) 新製品設計における環境評価の充実	1) 環境規制物質管理 改正RoHS指令への対応やREACH規則を含む自主管理物質を定め、グリーン調達制度および社内分析検査による保証体制を確立し運用を継続しています。 2) 新製品設計評価制度 製品ライフサイクルの各段階におけるエネルギー使用効率向上、排出物削減及び分解分別性向上等に対する設計上の配慮を評価する仕組みを確立して実践しています。
2. 環境負荷を低減した生産プロセスの構築	1) 電力利用効率の向上とCO2削減 目標: 4,864t/年以下 2) 排出物の抑制と再資源化の促進 目標: 再資源化率99%以上	1) CO2排出量 売上高原単位で前年比7.2%減。絶対値としては16%増となるも年間目標は達成しました。下半期からは生産増での休出や、生産増強への設備移動・調整・設置等で一部休出も増えたことで上昇しましたが目標はクリアしました。休日のエアリー漏れやチラー停止点検を励行したことも達成の一助となりました。(頁4参照) 2) 排出物の総排出量 売上高原単位で前年比24.6%増となり、排出実績では、53%増となりました。再資源化率は97.1%と高水準を保っており、昨年度より原単位では0.9%増の結果となりました。(頁5参照)
3. 省エネへの対応	1) 徹底したムダの削減 2) モニタリングシステムの更新	1) 空調電力の徹底した管理を実施。操業の増減に対して計画的調整を実施又、コロナ対策の換気の中で殊に夏季冬季のシビアな温調の実施。 2) 3事業所全てにおいてモニタリングが可能となり、電力使用状況の異常値の早期発見と迅速な対応が可能となりました。 3) 積極的な休日空調のタイマー停止、休日のエアリー点検・修繕等の取組実施。 4) 工場の定期点検の実施による建物設備の効率確保。 5) 太陽光発電装置の導入(2016年11月より稼働)
4. 地域・国際社会への情報開示と貢献	1) 地域環境への貢献	1) 地域の環境保全への取組みとして、工場周辺道路の清掃を実施(頁6参照)

電力利用効率向上とCO2排出削減の状況

(穂高工場における実績)

電力使用量実績



下記内容は、穂高工場のみ対象

■2020年度における電力消費は、前年比22.5%増の882万kW

売上高原単位では、前年比増減なし

■CO2排出については、下半期からの生産台数の大幅増により、絶対値としては16%増
原単位では、前年比7.2%減

■電力利用効率向上への主要な取組み: 継続

- ①製造工程の生産効率の向上
- ②操業時間外(休日・夜間)の節電
- ③工場施設及び設備の省エネ化(更新時)
- ④空調管理強化

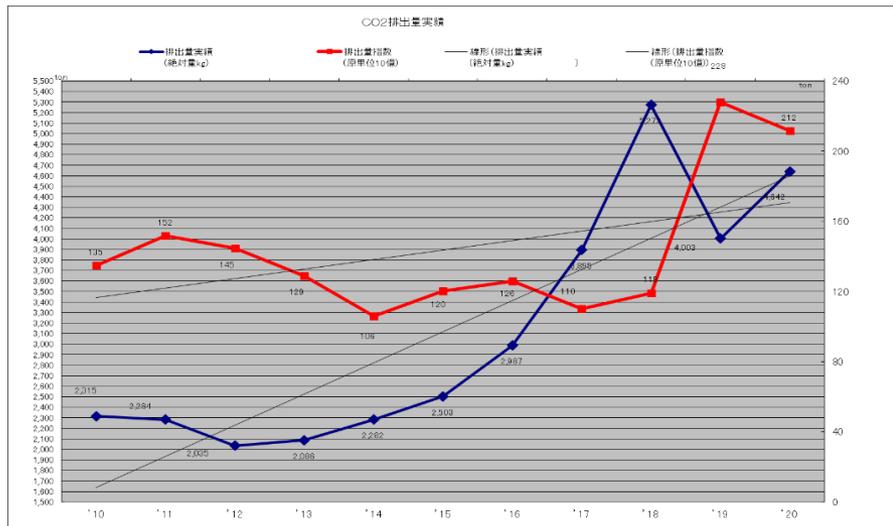
■その他の取組

①太陽光発電の導入(2016年度11月より稼働)

2019年度 219,163kwh発電

2020年度 228,405kwh発電

CO2排出量実績

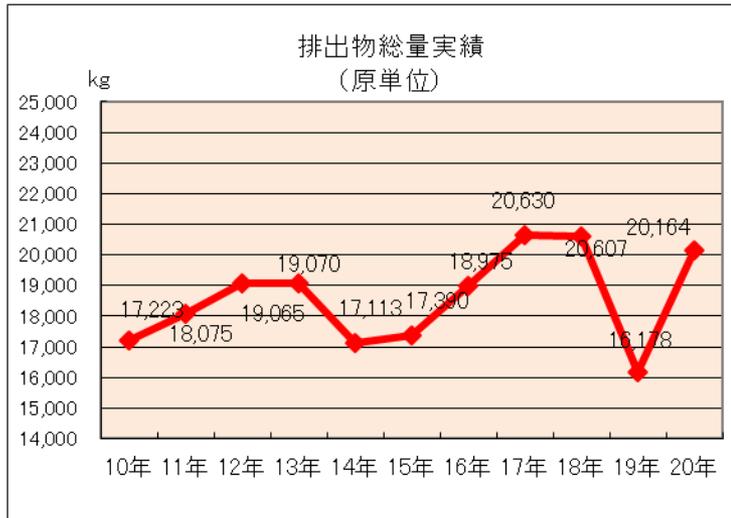


産業排出物の抑制と再資源化促進の状況

(穂高工場における実績)

2020年度における排出総量実績(原単位)は、前年比24.6%増の結果となりました。排出実績では、53%増となりました。再資源化率は2009年度から徐々に上昇傾向を示しており、2019年度との比較では、原単位で0.9ポイント増の結果となりました。目標である”99%以上”に対し、実績は97.1%となりました。

総排出量(原単位)



再資源物

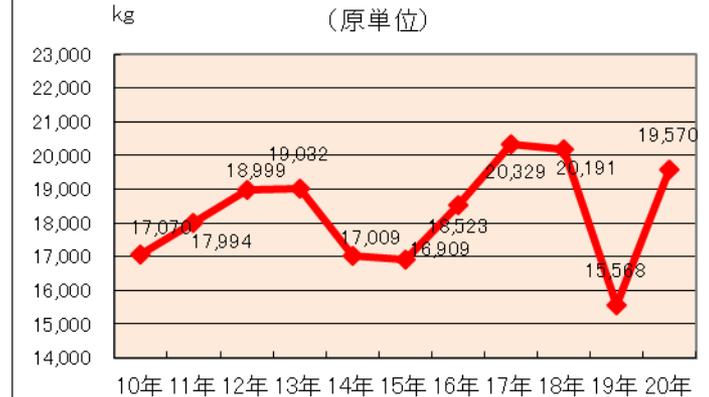
97.1%
(20年度)

分別

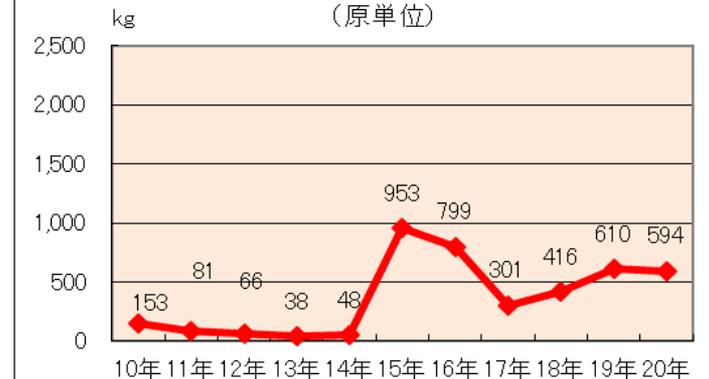
廃棄物

2.9%
(20年度)

再資源化実績 (原単位)



廃棄物実績 (原単位)



注：再資源物 = 金属屑・切粉、モータ廃却部品、電線屑、電子部品、OA機器、開発試作品等。

廃棄物 = 木くず、廃プラ、砥石粉等が主なものです。

地域への貢献

緑化及び地域清掃活動

①緑化整備

工場周辺地域の景観を損なわないよう会社敷地内及び周辺道路の緑化に努めております。

②清掃活動

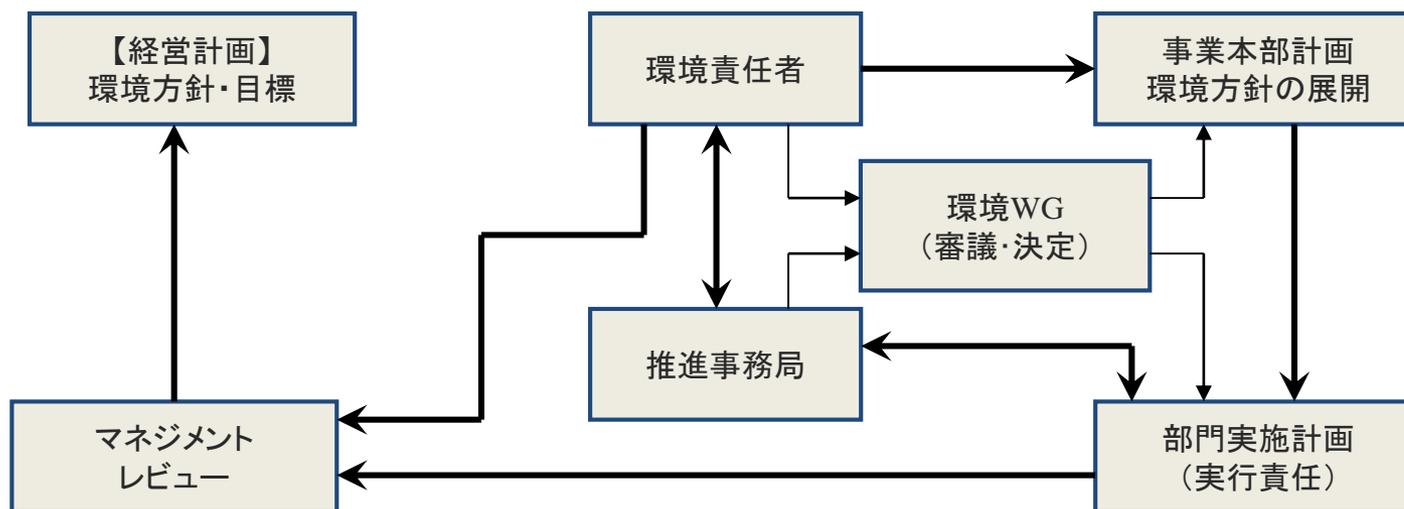
工場周辺道路の清掃活動を年2回実施しました。



環境マネジメントシステムの改善

推進体制

弊社は、1998年以来ISO14001の認証を受けた環境マネジメントシステムを維持しています。環境方針に基づき、年度毎に各事業本部が取り組むべき重要課題と目標を設定し、マネジメントプログラムに展開して、各職制の自律的な環境活動の推進と、環境システムの効率的な運用に努めています。



編集・発行責任／問合せ

発行：2021年5月

発行責任者（環境責任者）：井口 秀文

編集事務局：成田和家

問合せ先：0263-83-6802



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

